

**製品名: GPR139 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11640**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	40kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GPR139
別名	GPR139; GPRG1; PGR3; Probable G-protein coupled receptor 139; G(q)-coupled orphan receptor GPRg1; G-protein-coupled receptor PGR3
遺伝子 ID	124274.0
SwissProt ID	Q6DWJ6
免疫原	抗血清はヒト GPR139 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 181-230

**背景**

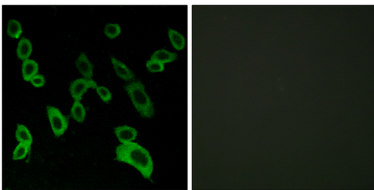
この遺伝子は、G タンパク質共役受容体のロドプシンファミリーに属するタンパク質をコードしています。コードされているタンパ

ク質は、ほぼ中枢神経系でのみ発現します。L-トリプトファンとL-フェニルアラニンは、コードされているタンパク質の生理学的リガンドとして作用する可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2016年1月]、機能：オーファン受容体。G(q/11)を介した経路で作用すると考えられています。、類似性：Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属します。、組織特異性：ほぼ脳でのみ発現します。末梢組織では非常に低レベルで検出されます。、

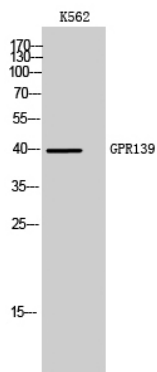
## 研究分野

-

## 画像データ



GPR139抗体を用いた LOVO 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



GPR139 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析